

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部				
1-⑤	青少年の健全育成を推進する		健康・こども部				
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31 年度
			27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
青少年指導員の地域活動率	%	81	82	82			83
愛護指導件数（年間）	件	2,340	1,790	1,354			2,140
関連事業							
○青少年健全育成催事事業○青少年指導員活動事業○青少年指導・相談事業○青少年国際交流事業 ○ジュニア・リーダー育成事業							
決算額							
	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
事業費（千円）	35,228						
執行率（%）	95.96						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
●成人式や青少年会館自主事業などを開催し、青少年団体の交流と連携を図りました。 ●市青少年指導員連絡協議会として、理事会や研修会等を開催するとともに、各地区の協議会においても青少年健全育成や指導・見守りに中心的な役割を果たしました。 【青少年指導員 321 名を委嘱】 ●愛護指導として、青少年の非行の早期発見及び早期指導を継続的に取り組むことで、愛護指導件数や相談件数が前年度に続き減少しました。 ●ローレンス市青少年訪問団を平塚に迎え、また、本市青少年をローレンス市に派遣し、日常と異なる文化や生活を直接学ぶことで、両市間の活発な交流を図りました。 ●ジュニア・リーダー養成講習会開催し、ジュニア・リーダーズクラブへの加入者の増加を図りました。							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
●青少年指導員が青少年健全育成の指導や見守りの中心的な役割が担えるよう青少年指導員連絡協議会等との連携を密にしていく必要があります。 ●青少年の指導・相談にあたり、相談員の質的向上や警察関係機関等だけでなく地域との連携をより強化する必要があります。 ●青少年海外派遣に参加した団員は、帰国後、本市における青少年活動のリーダーとして期待されることから、事業の実施にあたって、その趣旨を浸透させる必要があります。 ●ジュニア・リーダーについては、学校の部活動や塾通いとの両立が難しい中、クラブへの加入率の増加を図る必要があります。	●各地区から選出された理事で構成する理事会（年５回）において、幅広い議論を促すとともに、各種研修活動の成果が、各地区の活動に還元される仕組みを検討します。 ●青少年や保護者等が相談しやすい環境を整えるため、相談員等に対して研修会を開催するとともに、警察や更生保護団体などとの連携を強化し、各地域の実情に応じた愛護指導に取り組みます。 ●青少年海外派遣団員ＯＢ・ＯＧで構成する団体の活動を支援するとともに、次年度以降の受け入れ事業の中で活躍の場を提供します。 ●ジュニア・リーダー養成講習会を積極的にＰＲするとともに、ジュニア・リーダーの養成からクラブのサポートまでの継続的な関わりとともに、青少年活動を通じた成長をより実感してもらえるよう各取組の充実を図ります。